

◆経済倶楽部講演会第4206回（6月2日）

2017年、2018年度の マクロ経済見通し

三菱UFJモルガン・スタンレー証券チーフエコノミスト

佐治 信行

- * 世界を圧倒する米国ビジネス界の変化
- * 人手不足のになぜ賃金は上がらないか
- * アイダスは無人工場で靴をつくる
- * なぜ若者の消費性向は低いのか
- * 対外債務が急増する新興国
- * ASEAN諸国の弱点は何か
- * 鉄鋼産業の有無がポイントに
- * 中国の債務償還スケジュールは要注意
- * 2019年以降、世界はリセッション入りか
- * 競争回避が日本の劣化を生んでいる



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は毎年この時期に来ていただきました。世界経済の
す佐治さんに来ていただきました。世界経済の
問題は今はメディア等では注目度が低くなって
おりますが、さまざまな問題を抱えながら世界
は大きく動いているということで、佐治さんか
らはいいつもユニークな視点からわれわれの目を
開かせるようなお話をしていただいております。
つい最近も北米、南米へ行かれ、これから中国
へ行かれるということで、忙しいところを縫っ
て、今日は世界のマクロ経済の動向についてお
話をいただきましたと思います。

それでは佐治さん、よろしくお願ひいたしま
す。（拍手）

世界を圧倒する米国ビジネス界の変化

佐治 ただいま紹介にあずかりました三菱UFJ

モルガン・スタンレー証券の佐治でございます。1時間少しばかりお付き合いいただきと
いう格好で進めさせていただこうと思います。

今司会者の方から紹介いただきましたように、
先週まで3週間ぐらい海外に滞在しております、
日本株を中心に日本に投資している投資家
と2週間ほど、毎日5件から6件ぐらいミーテ
ィングをやって、日本の経済を解説したり、投
資家を持っている疑問点に答えてきました。私
は北米で年に2回2週間ずつ4週間やって、ヨ
ーロッパではロンドンから大陸のほうにかけて、
これも年2回2週間ずつ4週間やっています。